



2011年12月期 中間決算概況

2011年8月8日

会社名 サントリーホールディングス株式会社
 代表取締役社長 (氏名) 佐治 信忠
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 濱岡 智

URL <http://www.suntory.co.jp>

広報部 TEL (03)5579-1150
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 2011年6月中間期の連結業績(2011年1月1日～2011年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2011年6月中間期	833,179	2.5	50,676	23.4	48,441	27.9
2010年6月中間期	812,967	11.2	41,071	47.9	37,867	35.5
2010年12月期	1,742,373	—	106,727	—	100,839	—

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
2011年6月中間期	33,557	149.6	49	05	49	03
2010年6月中間期	13,443	64.8	19	57	19	56
2010年12月期	40,027	—	58	25	58	23

(参考) 持分法投資損益 2011年6月中間期 △44百万円 2010年6月中間期 230百万円 2010年12月期 707百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
2011年6月中間期	1,657,909	484,010	27.7	676	27
2010年6月中間期	1,536,119	420,650	25.8	575	77
2010年12月期	1,568,296	446,978	26.9	613	97

(参考) 自己資本 2011年6月中間期 460,058百万円 2010年6月中間期 395,630百万円 2010年12月期 421,879百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2011年6月中間期	46,527	△ 43,676	26,380	189,032
2010年6月中間期	41,550	2,887	△ 48,071	104,852
2010年12月期	139,449	△ 28,200	△ 60,661	159,044

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2010年12月期	—	9 00	9 00

3. 2011年12月期の連結業績予想(2011年1月1日～2011年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,806,000	3.7	117,000	9.6	110,000	9.1	48,000	19.9	69	86

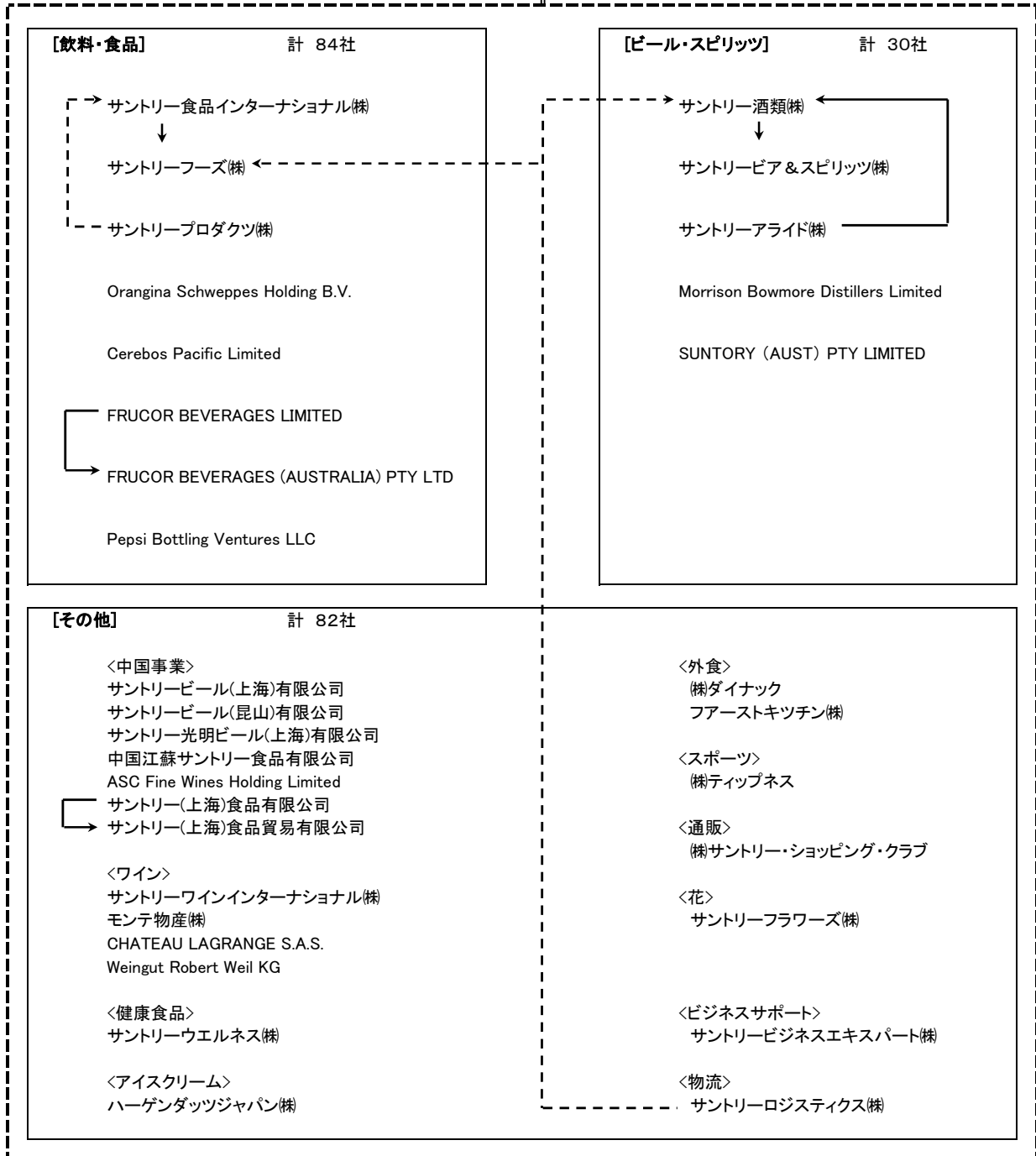
事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社171社および関連会社25社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産㈱

サントリーホールディングス㈱(持株会社)

グループ全体の経営戦略の策定・推進、管理



—————> 製品・商品の販売
 - - - - -> サービスの提供

(注) 1. サントリービジネスエキスパート㈱は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。
 2. ※は親会社です。
 3. 無印は連結子会社です。

経営成績

1. 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間のわが国の経済は、雇用情勢不安に加え、東日本大震災の影響による個人消費の停滞などにより、先行き不透明な状況が続いています。清涼飲料・酒類市場も、競争激化に加えて、震災により生産・物流・販売に大きな影響を受けました。

こうした中、サントリーグループは、東日本大震災の復興支援のため、義捐金の拠出・支援物資の提供等を行うとともに、震災により大きな影響を受けた生産・物流体制の迅速な復旧を図りました。その結果、2011年6月期の業績は、売上高8,332億円(前年同期比102.5%)、営業利益507億円(前年同期比123.4%)、経常利益484億円(前年同期比127.9%)、中間純利益336億円(前年同期比249.6%)と、いずれも過去最高を更新し、増収増益を果たしました。

〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、本年1月から国内外の事業会社が一体となった新体制に移行し、飲料事業のさらなる成長とグローバルな競争力の強化を図りました。

国内飲料事業は、清涼飲料総市場が前年同期比102%と推定される中、1億7,039万ケース(前年同期比101%)となりました。東日本大震災により、原材料・包材の供給や物流面での制約を受け、製造・販売に影響が生まれました。その中で、「サントリー天然水」は、震災後の水需要の高まりに対応するため、最大限の増産・出荷体制を整えることにより前年同期比133%となりました。「PEPSI」は、3月に主力商品「ペプシネックス」をリニューアル、5月には“甘くない”コーラ「ペプシドライ」を新発売し、新たなお客様を獲得することにより、前年同期比106%の販売となりました。果汁飲料は、引き続き「ニチレイ アセロラ」シリーズが寄与し、果汁飲料計で前年同期比120%の販売となりました。

海外飲料事業では、オセアニア地域で清涼飲料を製造・販売するフルコア Frucor Groupと、欧州で強い基盤を持つオランジーナ シュウエッペス Orangina Schweppes Groupがともに、前年同期比約105%と順調に売上を伸ばしました。Orangina Schweppes Groupが、Frucor Groupの主力ブランド「V」をスペインで販売するなど、グループ間のシナジーが創出されました。また、健康食品・加工食品を製造・販売するシンガポールのセレボス パシフィック Cerebos Pacific Limitedも好調に推移しました。

以上の結果、飲料・食品セグメントの売上高は、4,575億円(前年同期比103.5%)となりました。

〈ビール・スピリッツセグメント〉

サントリー酒類(株)は、東日本大震災によって影響を受けた生産・物流体制の迅速な復旧に取り組むとともに、新たな価値の提案や主要ブランドのマーケティング活動を展開しました。

ビール事業は、総市場が前年同期比3%減となる中、2,857万ケース^{※1}(前年同期比104.2%)の販売数量に達しました。当社ビール類の上半期シェアは13.6%(課税数量ベース)で、過去最高となりました。味わいに高い評価をいただいている「ザ・プレミアム・モルツ」は、お客様との接点をさらに拡大するべくマーケティング活動を強化し、621万ケース(前年同期比102.6%)と好調に推移しました。新ジャンル商品「金麦」も、1,133万ケース(前年同期比116.8%)と大幅に伸長しました。ノンアルコールビールテイスト飲料「オールフリー」は、219万ケースと好調に推移しました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料含む

スピリッツ事業は、新しい価値をもった商品の投入や付加価値の提案を行った結果、前年同期比101%となりました。

ウイスキー総市場は、“ハイボール”人気のさらなる高まりをうけ、前年同期比104%と推定されます。当社ウイスキーは、昨年発売した「トリス〈エクストラ〉」が20代や女性など幅広いユーザーからご好評をいただき好調な販売となりましたが、「角瓶」の出荷調整の影響などで前年同期比98%となりました。輸入ウイスキーについては、「ザ・マッカラン」「バランタイン」をはじめ幅広い商品が好調に推移し、前年同期比121%となりました。また、海外の酒類コンペティションで「響」がそれぞれ「World's Best Blended Whisky」「World's Best Single Malt Whisky」に選ばれるなど、海外における当社プレミアムウイスキーに対する評価がさらに高まりました。

RTDは、低アルコール飲料総市場が前年同期比104%と推定される中、前年同期比114%と市場を牽引しました。「-196℃」は、「-196℃ ストロングゼロ」が前年同期比154%と好調で、ブランド計で前年同期比113%の販売となりました。「ほろよい」は、2月に新発売した〈アイスティーサワー〉などが好調で前年同期比210%となりました。また、「角ハイボール缶」「トリスハイボール缶」は、発売以来の累計販売本数が1億本を突破するなど、支持を拡大しました。

リキュールは、ソーダ割りにレモンやライムを加えマドラーなどで潰して楽しむ「リッキー」スタイルが、女性を中心にご好評をいただきました。梅酒では、紙パック商品「梅酒にしませんか。」が好調で、前年同期比114%となりました。

焼酎は、“アセロラ割り”を訴求した「鏡月」が前年同期比108%と伸長しました。甲乙混和焼酎も好調で「むぎのか」が前年同期比114%、「はないも」が前年同期比129%と伸長しました。

新しい価値をもった商品として、「ソウルマッコリ缶」を3月から発売、当初年間計画の約3倍にあたる100万ケースに上方修正するなど好調に推移しました。

海外では、シングルモルトウイスキー「ボウモア」をグローバルに展開するMorrison Bowmore Distillers Limitedが売上を拡大しました。

以上の結果、ビール・スピリッツセグメントの売上高は、2,354億円(前年同期比100.6%)となりました。

〈その他セグメント〉

サントリー(中国)ホールディングス有限公司は、本年1月から関連する組織・グループ会社を集約し、中国における酒類・食品が一体となって事業成長を図りました。上海ビール事業は、プレミアム価格帯の「純生」および基幹ブランドの「超純」が伸長しました。中国最大規模のワイン輸入販売会社ASC Fine Wines Holding Limitedの販売も好調でした。飲料事業は、「三得利烏龍茶」、コーヒー飲料「リッテ」のほか新商品の販売が好調で前年同期比約2割増と大きく伸長しました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業は、総市場が前年同期比99%と推定される中、前年同期比105%と好調な販売となりました。国産ワインは、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”が好調で前年同期比113%と大きく伸長しました。輸入ワインでは、氷を入れたロックスタイルでワインを楽しむ新しい飲み方「ロッシ ロック」が好評の「カルロ ロッシ」が、前年同期比194%と大きく伸長しました。

サントリーウエルネス(株)は、主力の「セサミンE」シリーズや「グルコサミン&コンドロイチン」などが順調に推移し、前年同期比109%の売上となりました。

ハーゲンダッツジャパン(株)は、パッケージデザインを全面刷新したミニカップシリーズや、クレープグラッセなどの新商品がご好評をいただき、前年同期を上回る販売となりました。

外食事業は、震災の影響を受け、総市場同様前年同期を数%程度下回る結果となりました。

以上の結果、その他セグメントの売上高は、1,403億円(前年同期比102.5%)となりました。

なお、国内売上高は6,373億円(前年同期比99.7%)、海外売上高は1,959億円(前年同期比112.6%)となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んできました。また『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しました。

東日本大震災の復興支援に向けた取り組みとして、震災直後に、3億円の義捐金を拠出したほか、救援物資として「サントリー天然水」100万本の提供を行いました。さらに4月には、清涼飲料・ビール類(ビール・発泡酒・新ジャンル)の缶製品の売上本数1本につき1円を義捐金として積み立て、合計約40億円^{※2}を拠出することを決定しました。

また、環境に配慮した容器包装の新開発として、“環境負荷低減”と“使いやすさ”の両立を追求したペットボトル「P-ecot(ペコット)ボトル」の開発や、業界に先駆けたペットボトルのリサイクルシステムの構築などを行いました。水源涵養活動サントリー「天然水の森」についても、7,000haの中期目標到達へ向け、積極的に取り組みました。

※2 2010年販売実績に基づく当社試算。

2.通期の見通し

東日本大震災の影響もあり、引き続き景気の先行きに対して不透明な状況が続くと見られる中、清涼飲料・酒類市場における競合は一層激化するものと予測されます。当社は今後も経営革新を進め、市場環境の変化に迅速に対応するとともに、お客様の目線に立った活動や商品開発を推進し、“グローバル総合酒類食品企業”としてさらなる成長を目指します。

サントリー食品インターナショナル(株)の国内飲料事業は、「戦略ブランドのさらなる強化」と「新たな領域での需要創出」により、着実な成長を図ります。「BOSS」「サントリー天然水」「伊右衛門」「サントリー ウーロン茶」「PEPSI」といった基幹ブランドの育成・強化のほか、7月に発売した「NATURAi」など、新商品の積極的なマーケティング活動を展開します。

海外飲料事業は、「各国でのコアブランドのさらなる強化」とともに、海外グループ会社との連携を強め「グループ間交流によるシナジーの創出」を引き続き推進していきます。タイではサントリー緑茶「みらい」を発売、インドネシアにおいては、Garudafood Groupとの合併会社を設立するなど、飲料ビジネスにおけるチャンスを的確に捉え、グローバル戦略をいっそう加速させていきます。

サントリー酒類(株)は、市場環境の変化に対応すべく、既存商品の育成・強化に加え、新しい価値提案にも積極的に取り組みます。

ビール事業は、好調な「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「オールフリー」を柱に、マーケティング活動を強化しお客様との接点拡大を図っていきます。

スピリッツ事業は、引き続きお酒のさまざまな価値提案による需要拡大を目指します。ウイスキーは、“ハイボール”の多様な味わい方、楽しみ方を積極的に提案し、“ハイボール”市場のさらなる拡大に注力するとともに、プレミアムウイスキー・輸入ウイスキーのブランド力強化を図ります。RTDは、「-196°C」「カロリー。」「ほろよい」に加え、ハイボール缶など柱となるブランドを育成・強化するとともに、ノンアルコールカクテル「のんある気分」の投入により、さらなる新規需要獲得を目指します。焼酎は、引き続き「鏡月」「むぎのか」「はないも」に注力するほか、新商品の発売によりご家庭での新たな飲用スタイルを提案していきます。「ソウルマッコリ」は、積極的なマーケティング活動により、好調な販売を加速させていきます。

サントリー(中国)ホールディングス有限公司は、ビール事業の戦略ブランド「純生」を中心とした高品質・高付加価値商品に注力するとともに、ワイン・洋酒の販売を強化します。飲料事業は、引き続き「三得利烏龍茶」「乐趣」に注力するほか、積極的に新商品を投入していきます。

サントリーワインインターナショナル(株)は、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”のブランド力強化を図ります。また、引き続き「カルロ ロッシ」の新たな飲み方“ロッシ ロック”の浸透を図るとともに、「フレシネ」「ビニャマイポ」においても、積極的なマーケティング活動を展開します。

これらの活動により、事業セグメント別の売上高は、飲料・食品セグメント9,798億円(前年同期比103.6%)、ビール・スピリッツセグメント5,322億円(前年同期比103.5%)、その他セグメント2,940億円(前年同期比104.2%)を予定しています。

以上を総合して、2011年12月期の売上高は、1兆8,060億円(前年同期比103.7%)、営業利益1,170億円(前年同期比109.6%)、経常利益1,100億円(前年同期比109.1%)、当期純利益480億円(前年同期比119.9%)を予定しています。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2010年12月31日現在)		当中間連結会計期間末 (2011年6月30日現在)		増 減	前中間連結会計期間末 (2010年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
I 流動資産	617,792	39.4	674,064	40.7	56,271	570,561	37.1
現金及び預金	133,822		189,295		55,473	92,860	
受取手形及び売掛金	240,015		227,430		△12,585	225,097	
有 価 証 券	—		—		—	12,606	
た な 卸 資 産	157,588		190,726		33,138	172,345	
そ の 他	87,327		67,568		△19,759	68,754	
貸 倒 引 当 金	△960		△956		4	△1,102	
II 固定資産	949,673	60.6	982,866	59.3	33,192	964,698	62.8
1. 有形固定資産	379,225		396,408		17,183	384,927	
建物及び構築物	126,873		129,646		2,772	132,733	
機械装置及び運搬具	90,245		99,135		8,889	92,843	
工具、器具及び備品	57,347		58,527		1,179	55,743	
土 地	82,742		85,074		2,331	83,052	
そ の 他	22,015		24,025		2,009	20,553	
2. 無形固定資産	384,288		402,803		18,514	395,041	
の れ ん	369,268		387,404		18,135	379,682	
そ の 他	15,019		15,398		379	15,358	
3. 投資その他の資産	186,160		183,654		△2,505	184,729	
投資有価証券	98,272		95,292		△2,980	93,563	
そ の 他	92,486		92,880		394	95,877	
貸 倒 引 当 金	△4,598		△4,518		80	△4,711	
III 繰延資産	829	0.0	978	0.0	149	859	0.1
資産合計	1,568,296	100.0	1,657,909	100.0	89,613	1,536,119	100.0

(注)

有形固定資産に対する 減価償却累計額	631,180	636,987	5,806	634,693
-----------------------	---------	---------	-------	---------

(単位:百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (2010年12月31日現在)		当中間連結会計期間末 (2011年6月30日現在)		増減	前中間連結会計期間末 (2010年6月30日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比
(負債の部)		%		%			%
I 流動負債	538,937	34.4	574,297	34.6	35,360	538,206	35.0
支払手形及び買掛金	82,418		87,790		5,371	125,754	
電子記録債務	89,803		96,001		6,198	—	
短期借入金	101,907		93,982		△7,924	109,310	
1年内償還予定の社債	1,638		31,010		29,371	7,146	
未払酒税	42,688		26,505		△16,183	27,017	
未払消費税等	8,049		5,889		△2,159	5,158	
未払法人税等	17,989		14,762		△3,227	13,015	
未払金	85,090		87,428		2,338	94,025	
未払費用	53,722		58,228		4,505	72,562	
賞与引当金	8,797		8,809		11	8,429	
その他	46,829		63,888		17,059	75,786	
II 固定負債	582,380	37.1	599,602	36.2	17,221	577,263	37.6
社債	209,750		201,947		△7,803	176,255	
長期借入金	262,679		291,929		29,249	294,008	
退職給付引当金	10,469		10,913		443	10,405	
役員退職慰労引当金	727		412		△315	690	
その他	98,753		94,399		△4,353	95,902	
負債合計	1,121,317	71.5	1,173,899	70.8	52,582	1,115,469	72.6
(純資産の部)							
I 株主資本	462,936	29.5	485,651	29.3	22,714	436,352	28.4
資本金	70,000		70,000		—	70,000	
利益剰余金	392,936		420,309		27,373	366,352	
自己株式	—		△4,658		△4,658	—	
II 評価・換算差額等	△41,057	△2.6	△25,593	△1.5	15,463	△40,722	△2.6
その他有価証券 評価差額金	10,158		8,456		△1,702	9,432	
繰延ヘッジ損益	△853		△243		610	△1,038	
為替換算調整勘定	△50,362		△33,806		16,556	△49,116	
III 新株予約権	38	0.0	38	0.0	—	28	0.0
IV 少数株主持分	25,060	1.6	23,912	1.4	△1,147	24,991	1.6
純資産合計	446,978	28.5	484,010	29.2	37,031	420,650	27.4
負債純資産合計	1,568,296	100.0	1,657,909	100.0	89,613	1,536,119	100.0

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増 減	前連結会計年度	
	〔 自 2010年1月 1日 至 2010年6月30日 〕		〔 自 2011年1月 1日 至 2011年6月30日 〕			〔 自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
I 売 上 高	812,967	100.0	833,179	100.0	20,212	1,742,373	100.0
II 売 上 原 価	409,147	50.3	412,201	49.5	3,054	874,794	50.2
売 上 総 利 益	403,820	49.7	420,978	50.5	17,157	867,579	49.8
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	362,749	44.6	370,302	44.4	7,553	760,851	43.7
営 業 利 益	41,071	5.1	50,676	6.1	9,604	106,727	6.1
IV 営 業 外 収 益	2,350	0.3	2,383	0.3	33	4,269	0.3
受 取 利 息	516		419		△97	857	
受 取 配 当 金	1,087		1,182		94	1,694	
雑 収 入	745		781		35	1,716	
V 営 業 外 費 用	5,554	0.7	4,617	0.6	△936	10,157	0.6
支 払 利 息	4,606		3,939		△666	8,813	
雑 支 出	947		678		△269	1,343	
経 常 利 益	37,867	4.7	48,441	5.8	10,573	100,839	5.8
VI 特 別 利 益	1,560	0.2	1,174	0.1	△385	2,500	0.1
固 定 資 産 売 却 益	246		—		△246	309	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	925		590		△334	1,025	
関 係 会 社 株 式 売 却 益	—		176		176	—	
そ の 他	389		407		18	1,165	
VII 特 別 損 失	5,124	0.7	12,823	1.5	7,699	16,630	0.9
固 定 資 産 廃 棄 損	1,624		1,730		106	4,133	
減 損 損 失	662		—		△662	5,151	
関 係 会 社 整 理 損	2,271		—		△2,271	3,584	
震 災 関 連 費 用	—		5,635		5,635	—	
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	—		2,614		2,614	—	
そ の 他	566		2,842		2,276	3,760	
税金等調整前中間(当期)純利益	34,304	4.2	36,793	4.4	2,488	86,709	5.0
法人税、住民税及び事業税	17,899	2.2	607	0.1	△17,292	35,694	2.1
法人税等調整額	—	—	—	—	—	4,211	0.2
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益	—	—	36,185	4.3	—	—	—
少数株主利益	2,960	0.3	2,628	0.3	△332	6,775	0.4
中間(当期)純利益	13,443	1.7	33,557	4.0	20,113	40,027	2.3

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	〔 自 2010年1月 1日 至 2010年6月30日 〕	〔 自 2011年1月 1日 至 2011年6月30日 〕	〔 自 2010年 1月 1日 至 2010年12月31日 〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	34,304	36,793	86,709
減価償却費	22,080	24,521	45,068
のれん償却額	11,044	10,831	21,780
受取利息及び受取配当金	△1,604	△1,602	△2,552
支払利息	4,606	3,939	8,813
減損損失	662	—	5,151
固定資産廃棄損	1,624	1,730	4,133
売上債権の増減額(△は増加)	△6,655	15,892	△22,738
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,354	△25,880	2,365
仕入債務の増減額(△は減少)	6,250	△803	9,766
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,528	△18,582	42
その他	30,818	21,691	30,769
小計	73,248	68,532	189,309
利息及び配当金の受取額	1,711	1,677	3,261
利息の支払額	△4,891	△3,056	△8,847
法人税等の支払額	△28,518	△20,626	△44,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,550	46,527	139,449
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△268	△2	△254
定期預金の払戻による収入	30,065	9	30,050
有価証券の売却及び償還による収入	—	—	588
短期貸付金の増減額(△は増加)	△21	△104	△16
有形及び無形固定資産の取得による支出	△26,631	△25,558	△55,097
有形及び無形固定資産の売却による収入	352	781	572
投資有価証券の取得による支出	△74	△3,447	△3,780
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,205	1,568	2,421
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,475	△14,260	△3,513
その他	736	△2,661	828
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,887	△43,676	△28,200
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△5,309	903	△46,399
長期借入れによる収入	8,366	45,273	15,712
長期借入金の返済による支出	△9,563	△26,695	△13,463
長期預け金の減少額	466	1,701	1,037
社債の発行による収入	—	21,395	34,874
社債の償還による支出	△32,075	△658	△39,183
リース債務の返済による支出	△848	△1,278	△1,916
配当金の支払額	△4,809	△6,184	△4,809
少数株主への配当金の支払額	△4,364	△3,696	△6,711
その他	66	△4,380	198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,071	26,380	△60,661
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,170	756	△4,199
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,803	29,988	46,388
VI 現金及び現金同等物の期首残高	112,656	159,044	112,656
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	104,852	189,032	159,044

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入しており、持株会社である当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱い製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「飲料・食品事業」、「ビール・スピリッツ事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品……………清涼飲料、健康飲料、加工食品 他
 ビール・スピリッツ……………ビール類、ウイスキー、焼酎、RTD 他
 その他……………中国事業、ワイン、健康食品、アイスクリーム、外食、スポーツ、花 他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2010年1月1日 至 2010年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	442,227	233,934	136,805	812,967	—	812,967
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,221	1,159	5,767	10,148	△ 10,148	—
計	445,449	235,093	142,573	823,116	△ 10,148	812,967
セグメント利益	36,476	7,874	10,043	54,394	△ 13,322	41,071

当中間連結会計期間(自 2011年1月1日 至 2011年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	457,489	235,407	140,283	833,179	—	833,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,045	1,054	5,258	9,358	△ 9,358	—
計	460,535	236,461	145,541	842,538	△ 9,358	833,179
セグメント利益	42,493	12,394	10,485	65,373	△ 14,697	50,676

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。それぞれの金額は次のとおりです。

前中間連結会計期間
 セグメント利益の調整額 △ 13,322 百万円
 各報告セグメントに配分していない全社費用 △ 13,303 百万円
 セグメント間取引消去 △ 19 百万円

当中間連結会計期間
 セグメント利益の調整額 △ 14,697 百万円
 各報告セグメントに配分していない全社費用 △ 14,646 百万円
 セグメント間取引消去 △ 51 百万円

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 地域ごとの売上高の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2010年1月1日 至 2010年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア・オセアニア	米州	海外計	合計
	売上高	639,050	71,063	68,932	33,921	173,917
連結売上高に占める比率	78.6%	8.7%	8.5%	4.2%	21.4%	100.0%

当中間連結会計期間(自 2011年1月1日 至 2011年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア・オセアニア	米州	海外計	合計
	売上高	637,298	74,880	88,954	32,048	195,881
連結売上高に占める比率	76.5%	9.0%	10.7%	3.8%	23.5%	100.0%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によつています。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1)欧州……………ヨーロッパ諸国
 (2)アジア・オセアニア……………東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国
 (3)米州……………北米及び中南米諸国